

～平成25年度組合資料収集加工事業報告書の概要～

平成25年度は「IT経営（運営）」「商店街・共同店舗」「農商工連携・6次産業化」「組合間連携」の4テーマを取り上げ、専門家の協力を得ながら詳細な調査・分析を行い、これをもとに組合事例のエッセンスを「先進組合事例抄録」として81組合の事例を取りまとめた。今回は、この中から2つの事例を紹介する。

「農商工連携・6次産業化」 企業組合 らんどまあむ

組合員各々が持つスキルが混ざり合うことで、付加価値の高い商品を生み出し、サービスをさらに派生させ手広く事業を展開することにより成功を収めている。

住 所	〒329-0402 栃木県下野市笹原295-11		
電 話 番 号	050-7508-1818	U R L	—
設 立	平成23年4月	FAX 番号	050-7508-1818
組 織 形 態	企業組合	出 資 金	630千円
主 な 業 種	食料品製造販売業	地 区	—
組合専従者	8人(うち専従理事4人)	組 合 員 数	9人

■背景と目的

「下野市農村生活研究グループ協議会」において、下野市の食材を使った新商品の開発事業を行っていた地元の主婦たちが、平成22年に下野市の「下野市ブランド支援事業」による加工方法の研究や市場調査等の支援を受けた。近くに道の駅の開設が決定したことにより、当協議会の参加者が「しもつけ」らしさにこだわった惣菜や弁当の販売を事業として行いたいという思いを強くもたれ、当組合を設立し、食料品の製造販売を行うこととなった。

■事業・活動の内容

当組合の活動から生まれた「かんぴょうの八幡巻き」は第1回下野市ブランド認定商品に指定され、地域ブランド商品となっている。

法人化には、女性が1年を通して働ける場を作るという目的もあったが、現在8名の女性が組合員として働いており組合事業の拡大に伴い、女性の雇用を増やして生きたいと考えている。

また、組合員には農家・管理栄養士・調理師など多様な専門家がおり、弁当のカロリー計算等もできることから、下野市から高齢者への配食サービス事業を受託している。ただ配食するだけでなく、高齢者の見守りも兼ねており、地域にとってなくてはならない存在になりつつある。

加えて、当組合内にある農園での収穫体験や、子供の調理体験等の農業体験を受け入れている。県内だけでなく、県外からも広く参加者があり、教育にも一役買っている。

■成果・効果

組合員に農家・管理栄養士・調理師等の多彩な専門家が集まったことにより、レベルの高い惣菜・弁当を製造販売することができたこと、また、地元の食材にこだわった活動は道の駅に立ち寄る遠方の消費者だけでなく、近くの消費者にも受け入れられたことが成功要因としてあげられる。目標売上高は達成していないが、年々売上高は伸びており近いうちに目標達成も可能である。

組合員は地域の女性たちであるが、1年を通して働ける場を自ら確立することができ、高付加価値商品を販売することによる所得向上につながることができた。

地域内からは、自治会や老人会等地域のイベントで、地元産農産物を使った惣菜や弁当を注文されることが多くなった。地域の味を地域のイベントへ提供したいという主催者の要望と、「ふるさと」の味を届けたいという当組合の目標が合致しているといえる。

かんぴょうの八幡巻き



加工所

- ・起業に興味のある方や法人化を検討されている任意グループを対象に「11月27日(木)ー山形市」、「12月3日(水)ー酒田市」にて企業組合セミナーを開催予定しております。詳細につきましては、本会連携支援部までご連絡ください。